



2015年7月期 第3四半期決算資料

株式会社 ティー・ワイ・オー

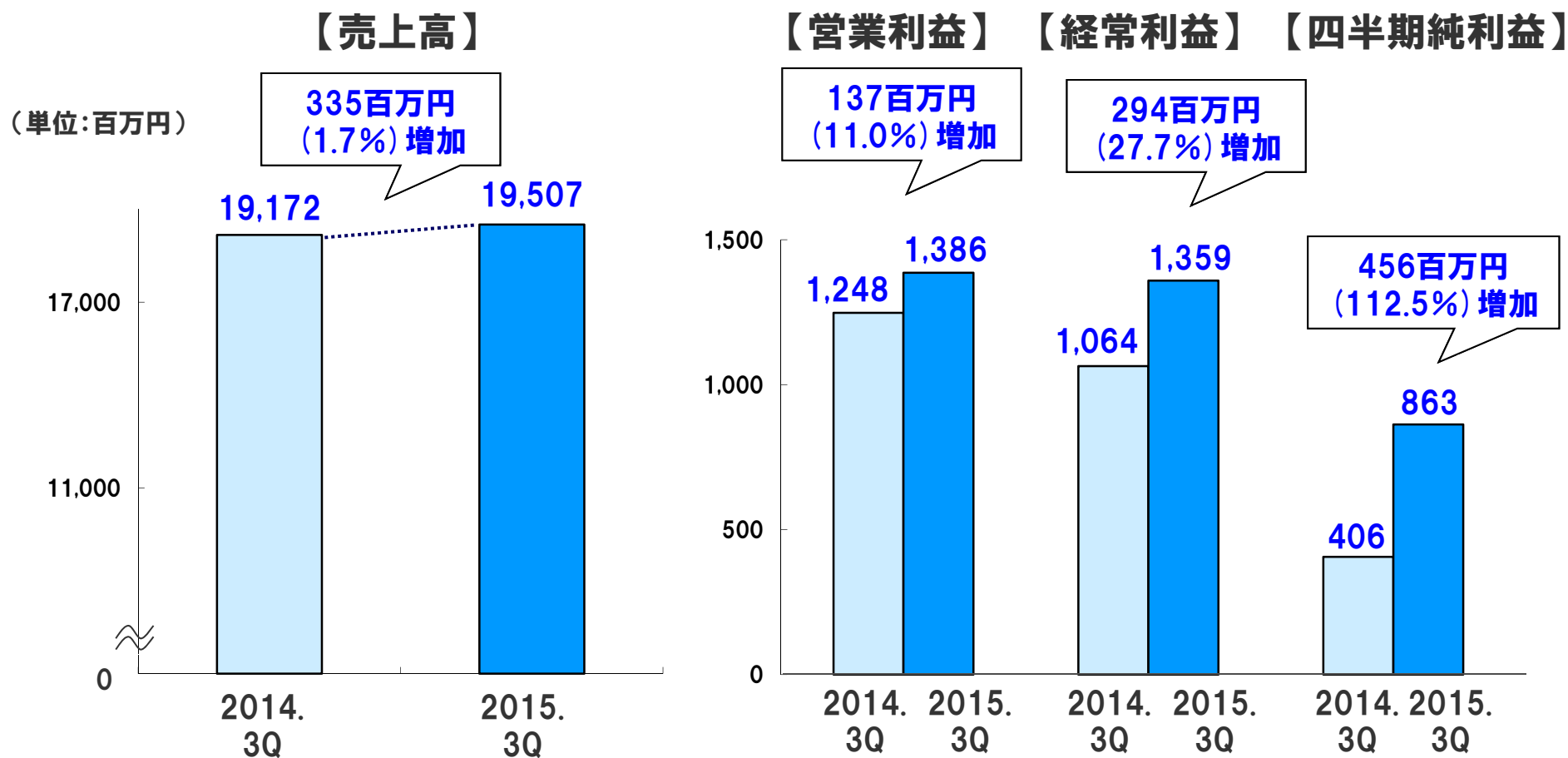
2015年6月10日

1. 連結決算



1.1. 決算ハイライト

売上高及び各段階利益は前年同四半期比で増収増益。
受注状況も前期を上回る水準で推移。



1.2.1. 連結損益計算書サマリー

	2014.3Q		2015.3Q		増減額	増減率
	金額	百分比	金額	百分比		
(単位:百万円)						
売上高	19,172	-	19,507	-	335	1.8%
売上原価	15,714	82.0%	15,927	81.7%	213	1.4%
売上総利益	3,457	18.0%	3,579	18.4%	121	3.5%
販売管理費	2,209	11.5%	2,193	11.2%	-16	-0.7%
営業利益	1,248	6.5%	1,386	7.1%	137	11.1%
営業外収益	59	0.3%	54	0.3%	-4	-7.2%
営業外費用	242	1.3%	81	0.4%	-161	-66.4%
経常利益	1,064	5.6%	1,359	7.0%	294	27.7%
特別利益	4	0.0%	103	0.5%	99	2256.8%
特別損失	127	0.7%	66	0.3%	-61	-48.1%
税金等調整前 四半期純利益	941	4.9%	1,396	7.2%	455	48.4%
法人税等合計	525	2.7%	520	2.7%	-4	-0.9%
四半期純利益	406	2.1%	863	4.4%	456	112.5%

✓好調な案件受注の結果、前年同四半期比で売上高は増加。

✓売上総利益率は前年同四半期比で0.4ポイント改善。

✓営業利益率は前年同四半期比で0.6ポイント改善。

✓四半期純利益は前年同四半期比112.5%と大幅に増加。

1.2.2. 広告主業種_Top10

自動車、電気・情報通信、飲料、衣料向け売上が引き続き好調。

【業種別 売上高Top10】

	2014.3Q(累計)	2015.3Q(累計)
1位	飲料	車両・交通器具・工業機械
2位	電気・情報通信	電気・情報通信
3位	車両・交通器具・工業機械	飲料
4位	衣料・繊維・服飾	衣料・繊維・服飾
5位	教養・出版・情報	教養・出版・情報
6位	流通関係・レストラン	娯楽・エンターテインメント
7位	娯楽・エンターテインメント	化粧品・衛生・医療
8位	化粧品・衛生・医療	流通関係・レストラン
9位	不動産・建設	食品
10位	食品	不動産・建設

1.3.1. 連結貸借対照表①

(単位:百万円)	2014.4Q	2015.3Q	増減
流動資産	9,458	13,497	4,038
現金及び預金	3,878	2,540	-1,338
受取手形及び売掛金	3,782	7,590	3,807
仕掛品	1,480	2,662	1,181
その他	324	719	394
貸倒引当金	-8	-16	-7
固定資産	3,421	3,284	-136
有形固定資産	2,013	1,991	-22
無形固定資産	324	262	-61
投資その他の資産	1,082	1,030	-51
投資有価証券	127	153	26
その他	1,213	938	-274
貸倒引当金	-257	-60	197
資産合計	12,879	16,782	3,902

✓ 配当支払 374百万円等により
現預金減少。
✓ ファクタリングによる運転資金調達を
やめたことで売上債権が増加。

✓ 受注残増加に伴う仕掛品の増加。

✓ のれん償却に伴う減少。

1.3.2. 連結貸借対照表②

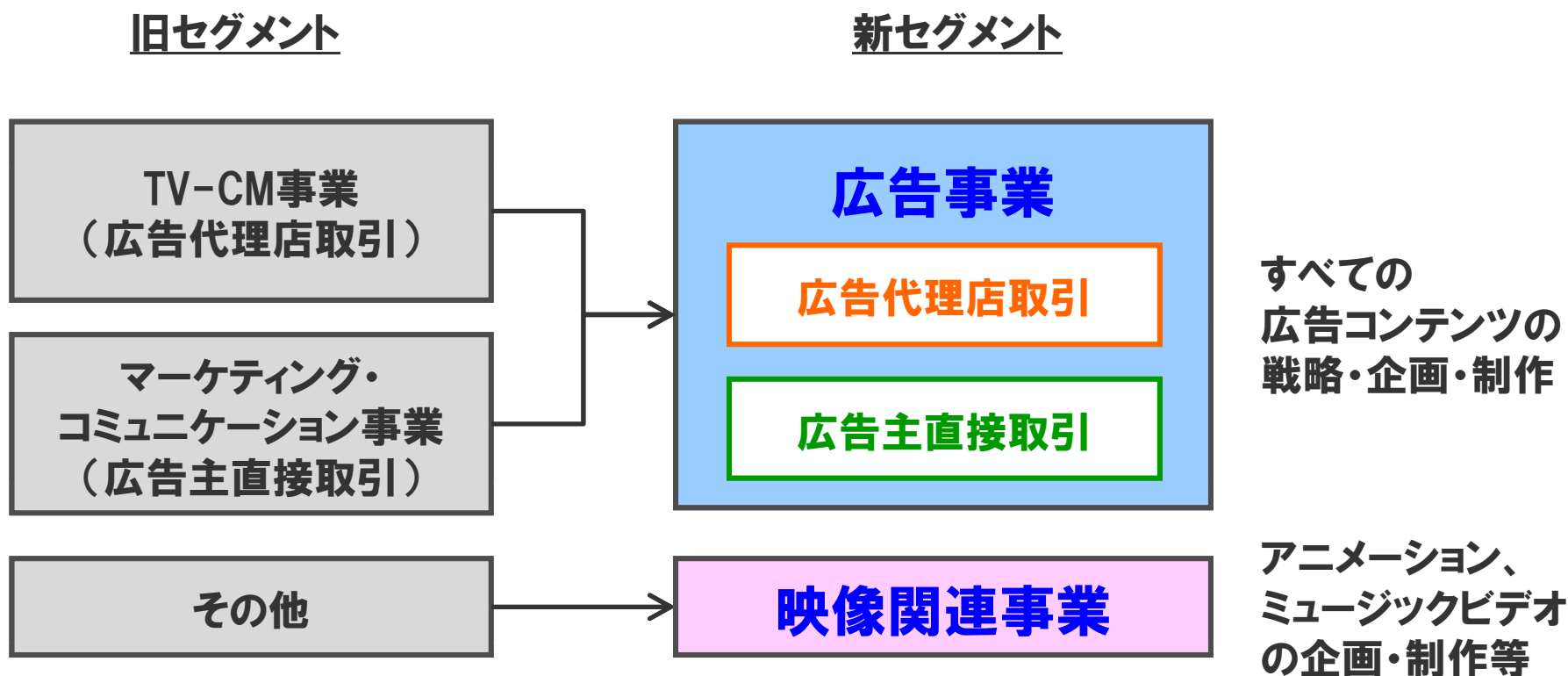
(単位:百万円)		2014.4Q	2015.3Q	増減	
負債の部	流動負債	4,490	8,165	3,675	
	買掛金	2,745	3,446	700	
	短期借入金	-	2,000	2,000	✓ 運転資金調達をファクタリングから短期借入に変更、資金調達コスト低減。
	1年内返済予定長期借入金	500	500	-	
	未払金、未払消費税等、未払法人税等	967	967	-0	
	その他	277	1,251	974	
	固定負債	3,442	3,134	-307	
	長期借入金	2,800	2,425	-375	✓ 約定返済に伴う減少により、長期借入金は着実に減少。
	その他	642	709	67	
	負債合計	7,933	11,300	3,367	
純資産の部	株主資本	4,799	5,288	488	
	資本金	1,848	1,848	-	
	資本剰余金	845	845	-	
	利益剰余金	2,105	2,594	488	✓ 配当金374百万円の支払いがあった一方、四半期純利益863百万円を計上したことにより増加。
	自己株式	-0	-0	-	
	その他の包括利益累計額	13	31	18	
	新株予約権	49	71	21	
	少数株主持分	83	90	6	
	純資産合計	4,945	5,481	535	
負債純資産合計	12,879	16,782	3,902		

2. セグメント業績



【参考】事業セグメントの変更について

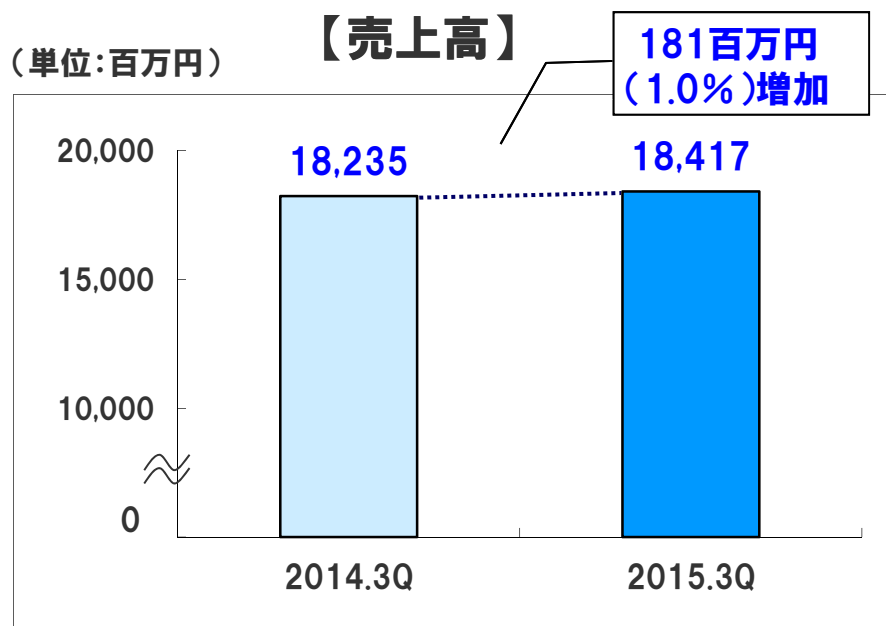
2015年7月期より事業セグメントを変更。
今後も広告代理店取引・広告主直接取引の拡大を目指す。



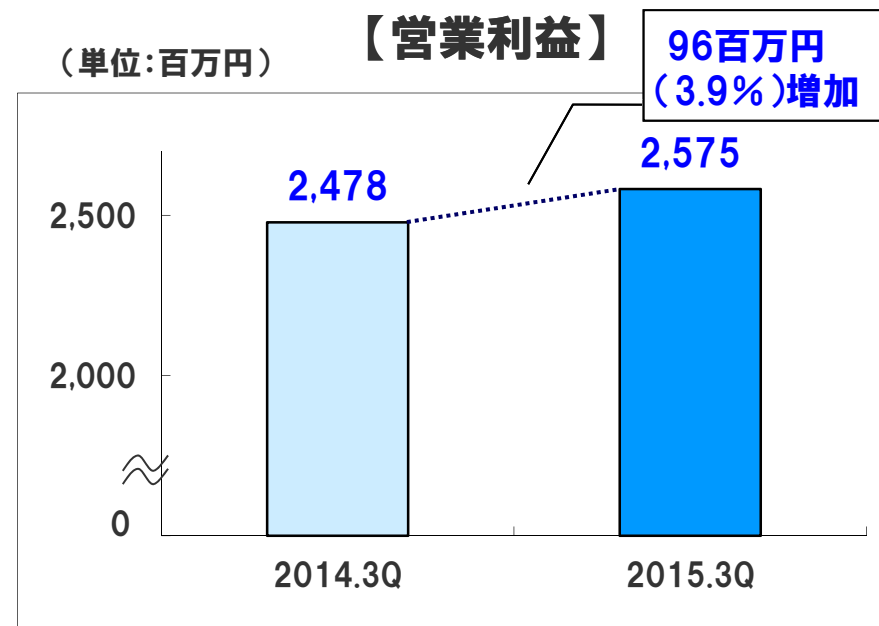
2.1. 広告事業



売上高の伸長及びコスト管理の徹底等により、
前年同四半期比で増収増益。



- ✓消費増税前の駆け込み需要により好調だった前年同四半期比で増加。
- ✓広告主直接取引の受注規模が拡大。
- ✓売上高は前年同四半期比で181百万円(1.0%)増加。



- ✓売上高の増加及びコスト管理の徹底。
- ✓営業利益は前年同四半期比で96百万円(3.9%)増加。

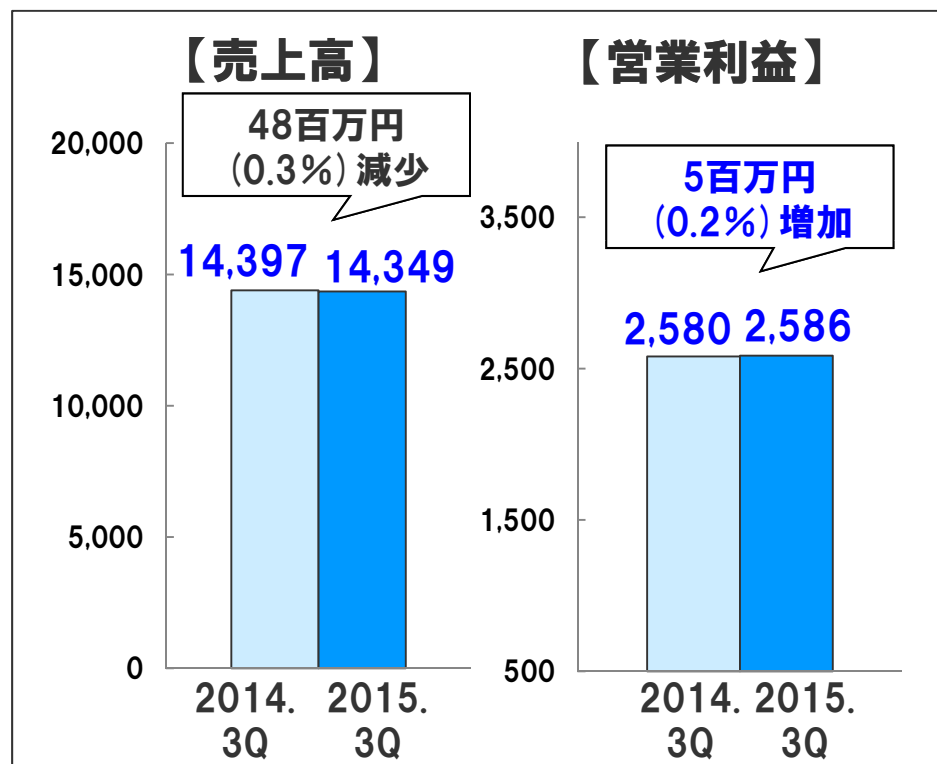
2.1.2.セグメント業績

広告事業

:内訳(取引形態別)

広告代理店取引

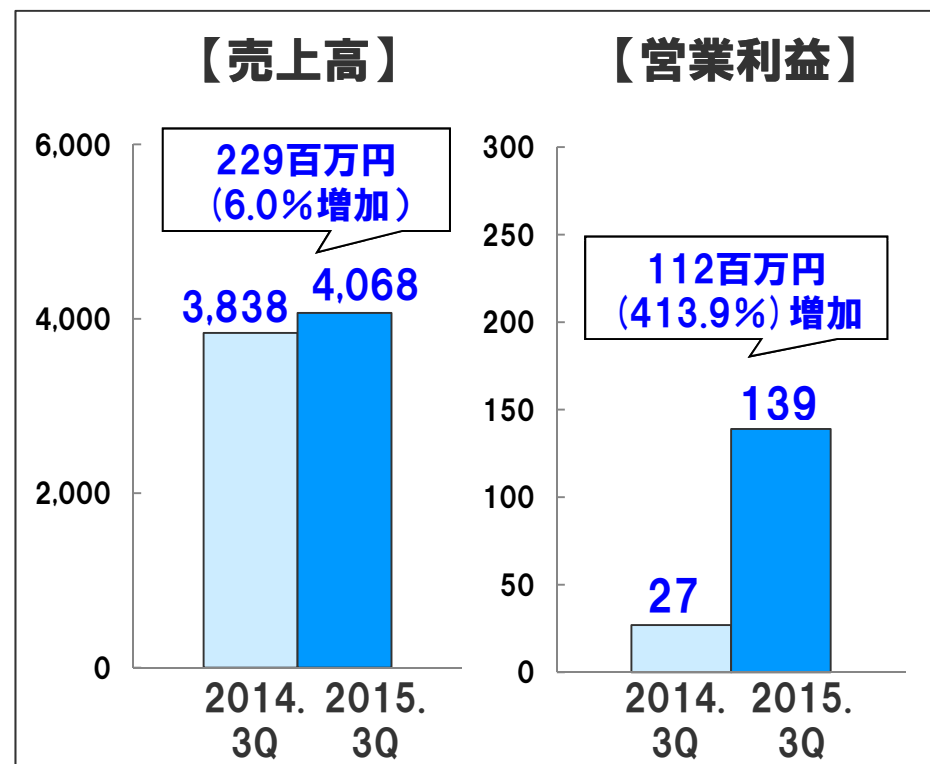
(単位:百万円)



- ✓消費増税前の駆け込み需要があった前期比で、**同規模の売上高を確保。**
- ✓コスト管理の徹底や人員配置の最適化等により、**営業利益は微増。**

広告主直接取引

(単位:百万円)



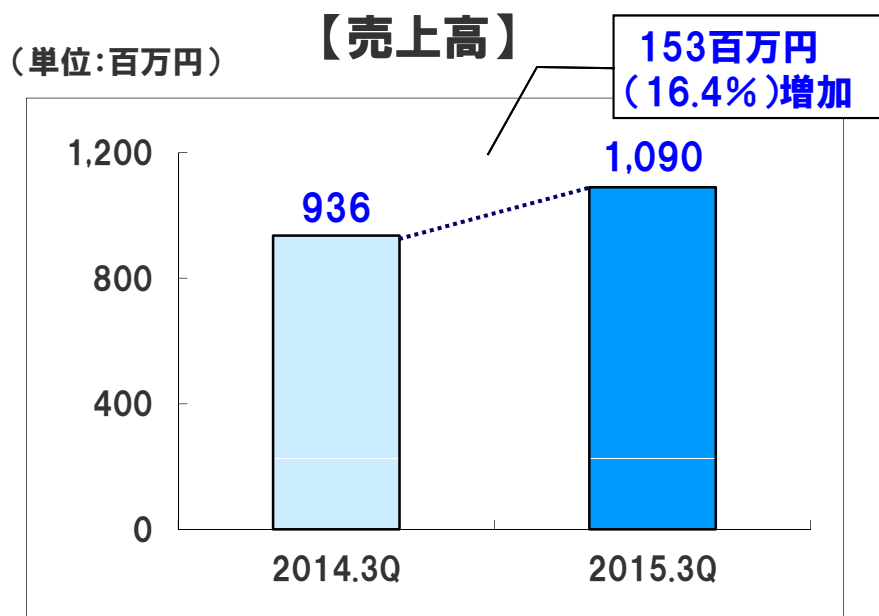
- ✓案件の大型化・多様化及び広告主直接取引の好調な推移により**売上高は増加。**
- ✓売上高の増加及びコスト管理の徹底により、新規営業活動の推進に係る先行コストを吸収し**営業利益は大幅に増加。**

※ 売上高: 外部顧客売上合算
 営業利益: 部門別営業利益合算(連結調整前)
 (広告主直接取引のTV-CMの営業利益は「広告主直接取引」に計上)

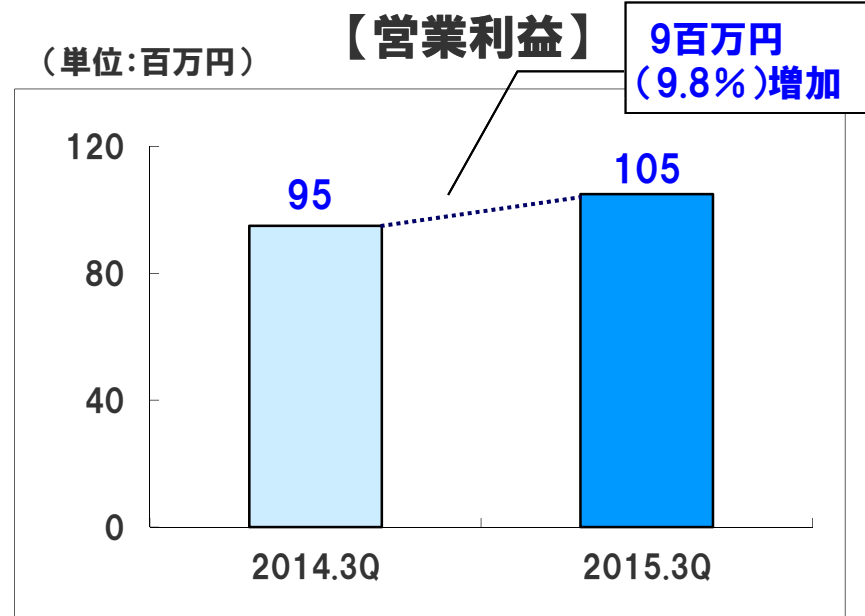
2.2. 映像関連事業



受注状況は好調に推移し、前年同四半期比で売上高増加。
高利益率のライブ映像等の案件が大幅に増加。



- ✓ 高利益率のライブ映像・演出映像の案件受注が増加。
- ✓ アニメ制作の案件単価が前期比で上昇。
- ✓ 売上高は前年同四半期比で153百万円(16.4%)増加。



- ✓ 売上高の増加及び高利益率案件の受注が着実に伸長。
- ✓ 営業利益は前年同四半期比で9百万円(9.8%)増加。

3. 経営施策の進捗状況



3. 経営施策

1

人員/人材強化

2

広告主直接取引の拡充

3

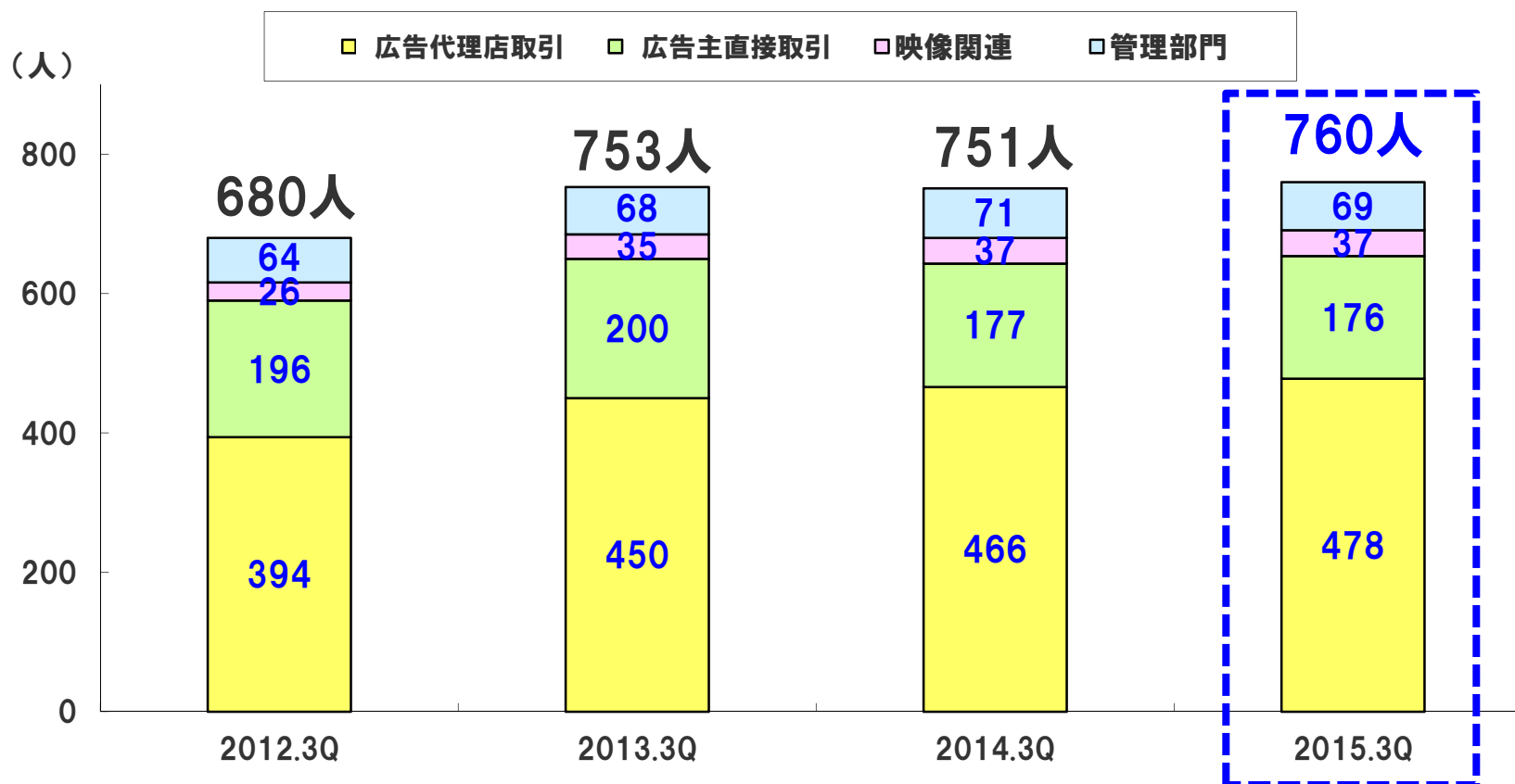
M&A展開

3.1. 人員／人材強化

採用活動は引き続き積極的に展開。
各種研修制度の導入、福利厚生の拡充を推進。

【事業部別_人員推移】

※連結除外済みのGreatWorksグループの人員数は含まない。



3.2. 広告主直接取引の拡充

■ 営業部門の強化

- ・ 直接受注で中心的な役割を担う「営業企画部」を「営業統括本部」に格上げ(2014年5月)
- ・ 同本部長を当社取締役役に選任(2014年10月)

■ 直営業特化の特設サイト開設(2014年8月)



■ 上流からの一括受注の大型案件が増加

【事例】	あさひ	TV-CM、PCサイト、スマホサイト、記者発表会、ポスター、店舗デザイン
	大東建託	TV-CM、Web、イベント
	神社本庁	TV-CM、ブランドムービー、ポスター、ノベルティ
	チョーヤ梅酒	TV-CM、Web、ポスター、メディア露出、PR
	スカイマーク	ブランド再生に関する業務支援

3.3. M&A展開

■ 海外：新規展開

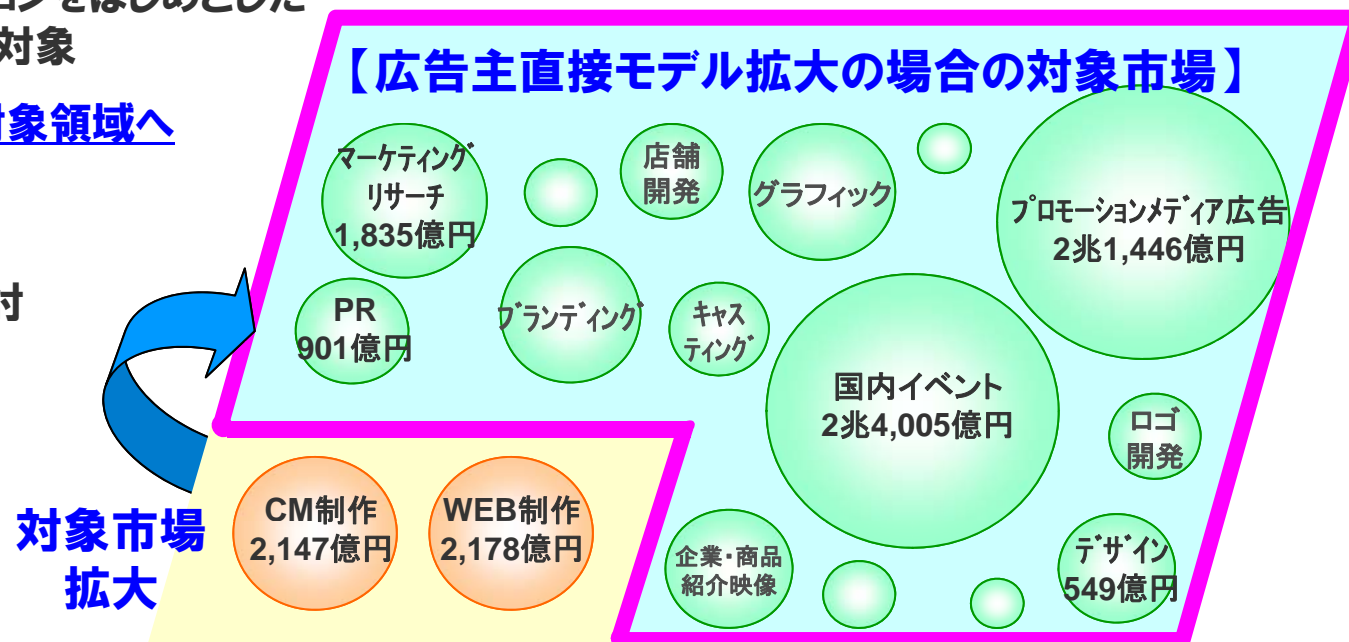
- ・ 2014年8月、**アジア戦略部**を新設
- ・ 2015年4月 インドネシアでのJV(合併会社)設立計画を発表。設立は7月を予定。
⇒ 2016年7月期実施の当初計画より1年前倒しで進捗中。

■ 国内：事業成長を加速させるM&Aの検討

- ・ PRやセールスプロモーションをはじめとした一定規模以上の企業を対象

⇒ 広大な市場が事業の対象領域へ

- ・ 業務提携、資本提携も含め手法を柔軟に検討



4. 数値計画



4.1. 業績予想

広告市場の堅調な推移及び好調な受注状況により、
通期の業績予想の変更はなし。

【2015年7月期 通期業績予想】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	配当金
通期 【予想】	28,500	1,850	1,700	900	4円
※前期実績	26,569	1,712	1,509	596	3円 (+記念3円)

4.2.今後の展開:数値計画

【当初計画】

□売上高

2018年7月期に、500億円

	15年7月期 【計画値】	16年7月期 【計画値】
売上高	280億円	320億円
営業利益 (率)	18.5億円 (6.6%)	21.5億円 (6.7%)

□有利子負債

2014年7月期末に、実質無借金
(ネット有利子負債ゼロ)

□自己資本比率

2016年7月期末に、50%以上

【現状の計画】

□売上高

2018年7月期に、500億円

	15年7月期 【計画値】	16年7月期 【計画値】	17年7月期 【計画値】
売上高	285億円	320億円	400億円
営業利益 (率)	18.5億円 (6.5%)	21.5億円 (6.7%)	27.0億円 (6.8%)

- 2018年7月期の売上 500億円の目標は据え置き
- 計画は順調に進捗しており、
2015年7月期の売上を上方修正
- 既に達成済み
- 成長戦略に積極的に資金を投下する方針に転換
- 自己資本比率50%以上の目標に拘らず、
成長の為の有効な資金活用に注力

4.3. 株主優待制度のご紹介

2015年7月期 株主優待（2015年1月31日時点：500株以上保有株主様対象）

- | | | |
|---------|------------|------------|
| ① クオカード | ・ 500株以上 | ⇒ 1,000円相当 |
| | ・ 2,500株以上 | ⇒ 3,000円相当 |
| | ・ 5,000株以上 | ⇒ 5,000円相当 |

② TYOオリジナル株主優待

当社ならではのクリエイティブ性のある株主優待を継続的に実施。

2015年7月期 TYOオリジナル株主優待 『株主様！あなたがアーティスト！』

- ・ 当社グループ会社でMV制作を行う(株)祭が、株主様のためにオリジナルミュージックビデオを制作。
- ・ 株主様に好きな歌を歌っていただき、衣装、スタイリスト、バックミュージシャン等は当社で用意。
- ・ 作品DVD、ポスターを贈呈。
- ・ 抽選3組様（家族・友人と出演可）

【(株)祭：音楽映像制作実績(一例)】
サザンオールスターズ、BUMP OF CHICKEN、
Mr. Children、ももいろクローバーZ 他多数

【参考】2014年7月期 TYOオリジナル株主優待

株主様又はご家族をモデルに
オリジナルキャラクターを制作(抽選10名様)



- ・ 本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございます。予めご了承ください。
- ・ 本資料には、当社の現在の計画、及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、さまざまな要因により、これらの見通しとは異なることがあります。
- ・ 本資料は、有価証券の売出し、販売、勧誘を構成するものではありません。

何かご不明な点等ございましたら、下記までご連絡下さい。

TYO経営企画部 (03-5434-1586)